

2011年度

科目名	日本語文法論A			
担当教員	宇都宮 啓吾			
配当	日文2		コード	33015
開期	前期	講時	水曜日3限	単位数 2
授業テーマ	古典語文法の基礎とその分析			
目的と概要	高校で学ぶ古典文法の確認をした後、その文法学説がどのような背景に基づくものであるのかを日本語史の視点から分析・解説します。			
成績評価法	テスト(60%)と平常点(小テスト・講義への取り組み:40%)で総合的に評価します。(全講義数の2/3以上出席することが前提であり、出席するだけで平常点が得られるわけではありません。「履修に当たっての注意・助言」を参照のこと。)			
テキスト	『読解のための必修古典文法』(文英堂)			
参考書	講義中に適宜紹介します。			
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	準備学習(時間外学習):講義中に指示した課題を次の時間までに解決しておくこと。高校レベルでの古典文法を習得していることは基本となるため、この点に不安がある場合には、復習・確認を行なっておくこと。 学則に従って出席(遅刻・早退等については便覧を参照のこと)を取ります。全講義数の2/3以上出席することが前提ですが、単に出席だけでなく、まじめに講義を受けることが基本です。特に、他の人の迷惑になる私語や受講放棄のような内職・居眠り等については、欠席と同様に扱います。教員としては、授業の流れや雰囲気を壊したくないために、できれば不真面目な学生への注意は最小限に留めたいと考えていますが、問題と考えられる場合には注意します。その場合、3回を以って、当該学生は受験停止とします。			
講義計画				
1 古語と古典文法 2 ことばの単位 3 単語の分類 4 用言とは 5 動詞 6 形容詞 7 形容動詞 8 用言の注目すべき用法 9 名詞 10 副詞 11 副詞 12 連体詞・接続詞・感動詞 13 本講義のまとめ① 14 本講義のまとめ② 15 総括				